

親水護岸ブロック

佇

たたずみ

特許登録



共和コンクリート工業株式会社

ふと川岸に佇むと、爽やかな風の香りが漂ってくる。
ここは、ゆつくりと時が流れ、心地よく感じられる。

駆け足で過ぎていく日々の暮らし
時にはのんびりと川べりに腰をおろして
ゆっくり流れゆく川を、ぼんやりと眺めていたいもの。
澄んだ水、いきいきと泳ぐ魚たち、萌える草木。
一見、見逃してしまいそうな身近な自然のひとつひとつが
私たちに、そっと話しかけてくる声がきこえてきそうです。
そんな一時を演出してくれるのが、親水護岸ブロック「佇」です。
「佇」は自然石の素材感を活かした、
景観に美しく映える親水護岸ブロックです。

[特 長]

- ① ブロックの自由な組み合わせにより、変化のある階段工となります。
- ② ブロック表面は自然石の意匠を持つので、自然に近い景観を創出します。

[用 途]

河川、ダム、遊水池、などの護岸工
風致地区、公園などの修景階段工

[規格諸元]

呼 び 名	主要寸法(mm)	体積(m ³)	参考質量(kg)	使用数(個/m ²)
1.5型A形	1190×498×100	0.1341	308	1.67
1.5型B形	790×498×100	0.0918	211	2.50
1.5型C形	390×498×100	0.0438	100	5.00
2.0型A形	1190×498×100	0.1171	269	1.67
2.0型B形	790×498×100	0.0783	180	2.50
2.0型C形	390×498×100	0.0390	89	5.00
3.0型A形	1190×498×100	0.1155	265	1.67
3.0型B形	790×498×100	0.0792	182	2.50
3.0型C形	390×498×100	0.0386	88	5.00
B F 形	790×498×100	0.0456	104	2.50
C F 形	390×498×100	0.0226	51	5.00



◀ 岩手県 御所ダム繁地区整備その1その2工事

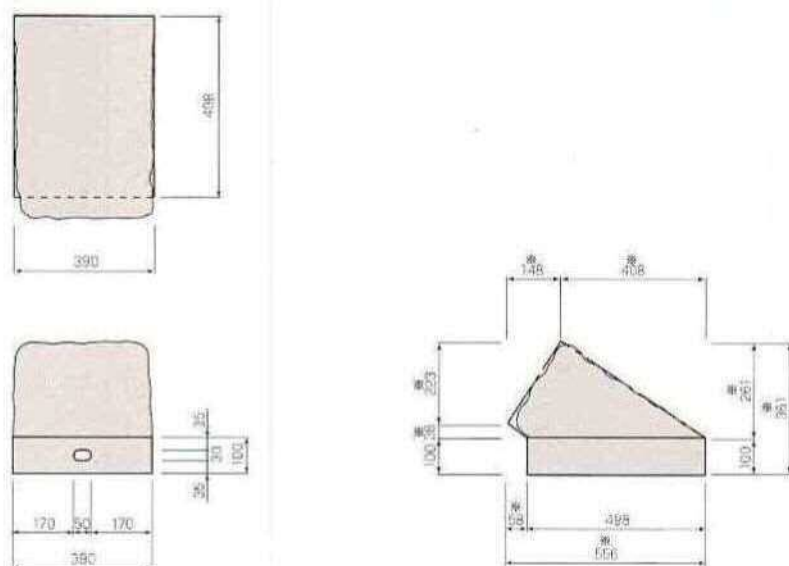
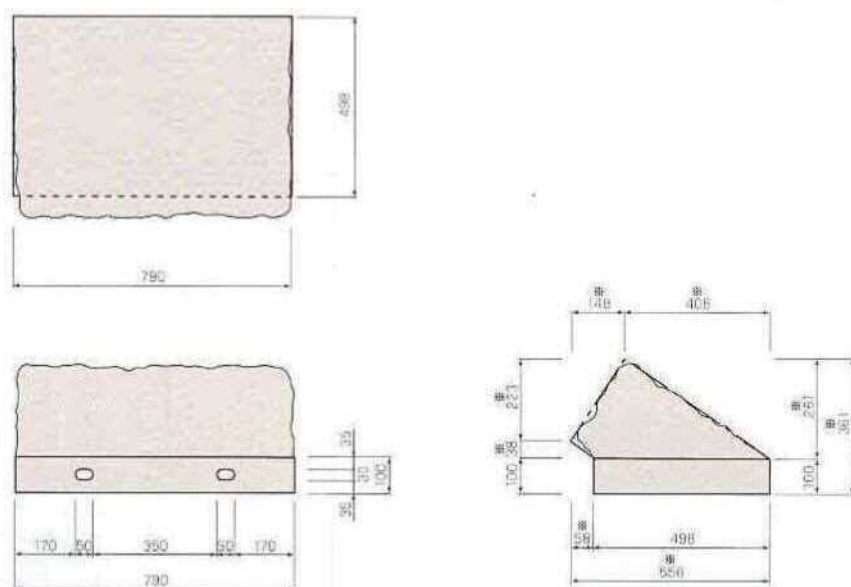
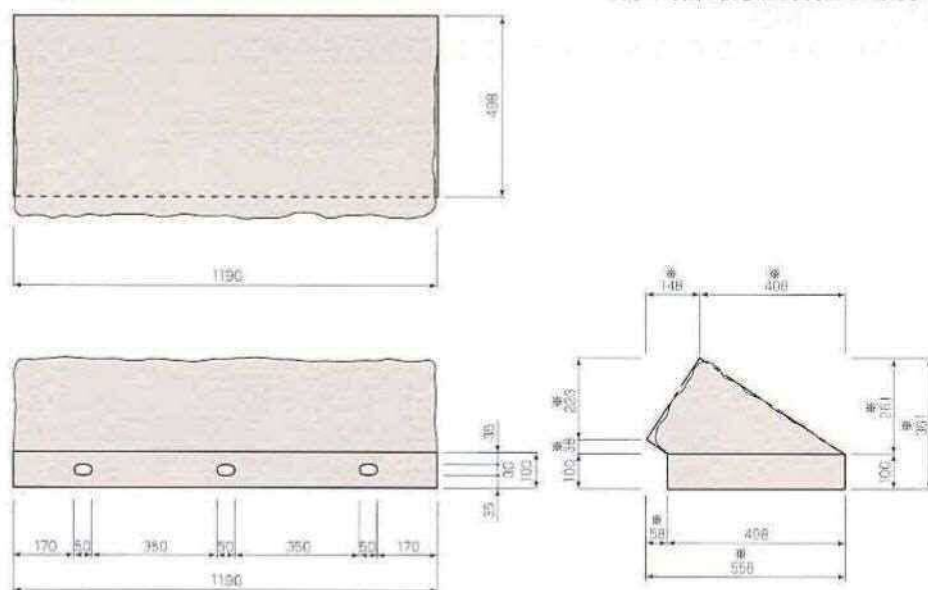


▲ 岩手県 芋沢川筋上矢地区水辺散策路工事

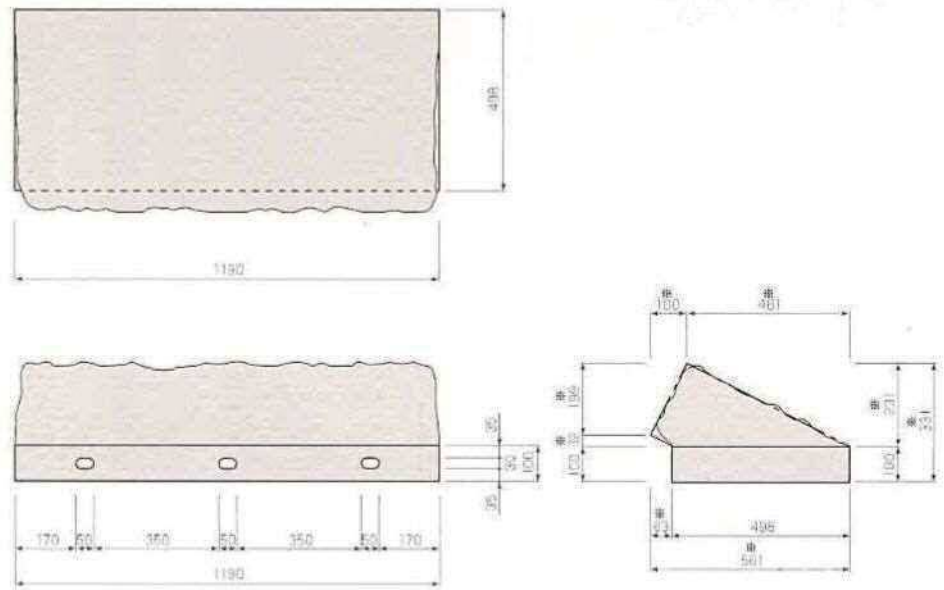


◀ 宮崎県 こどものくに知福川美岸工事

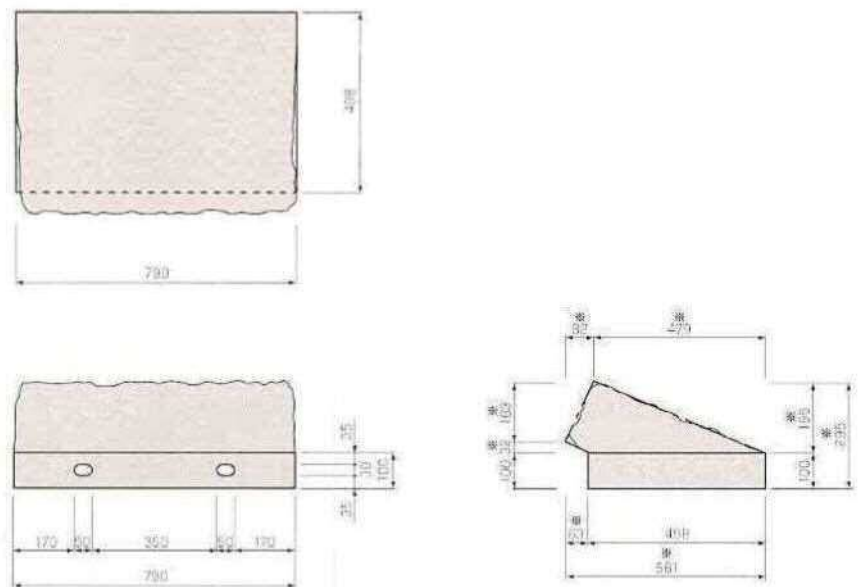
※印の寸法は仮想点を表示しています。



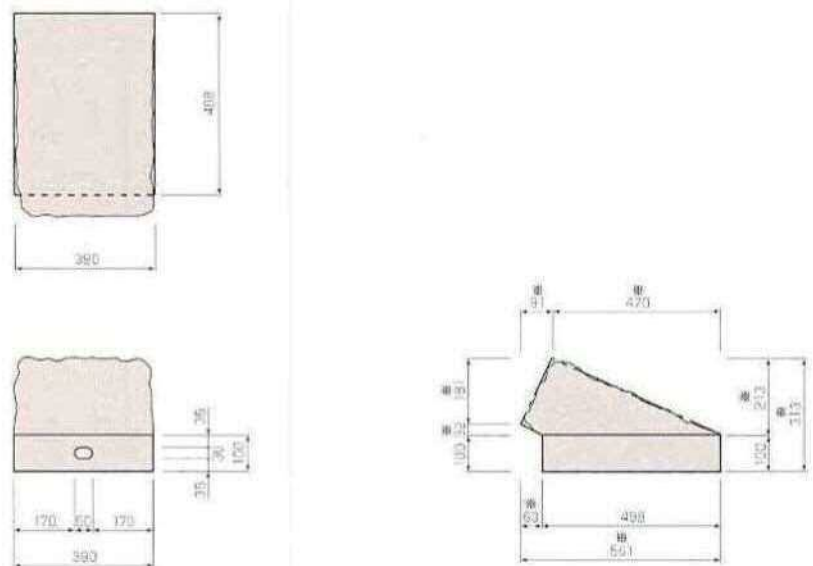
2.0型A形



2.0型B形

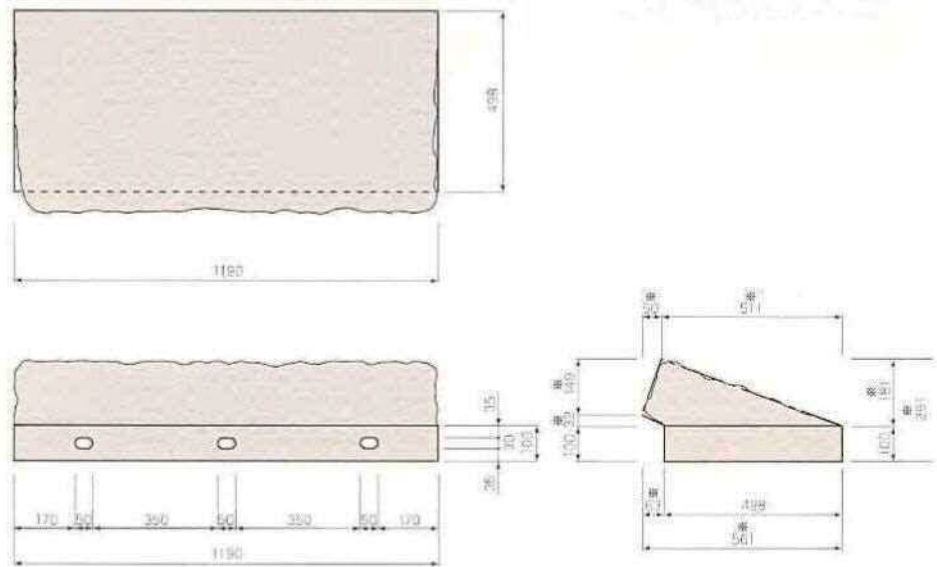


2.0型C形

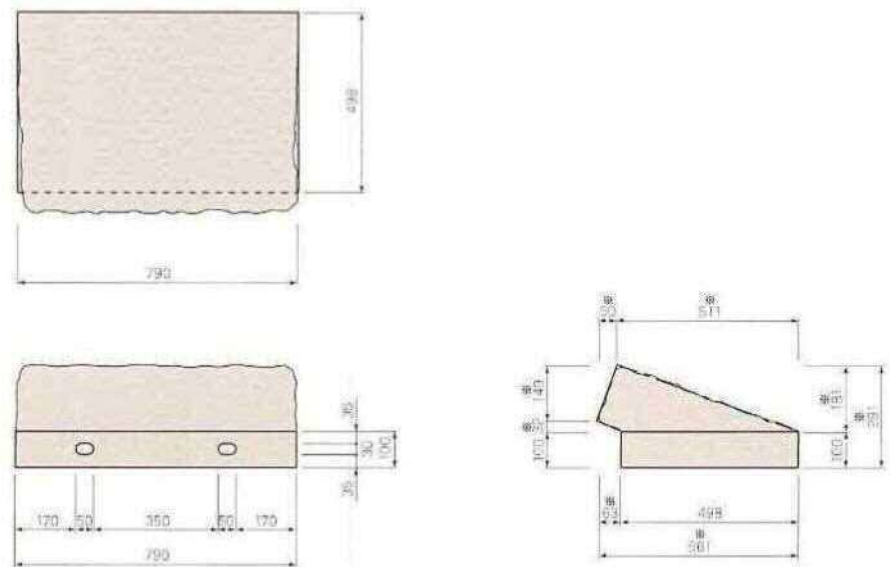


3.0型A形

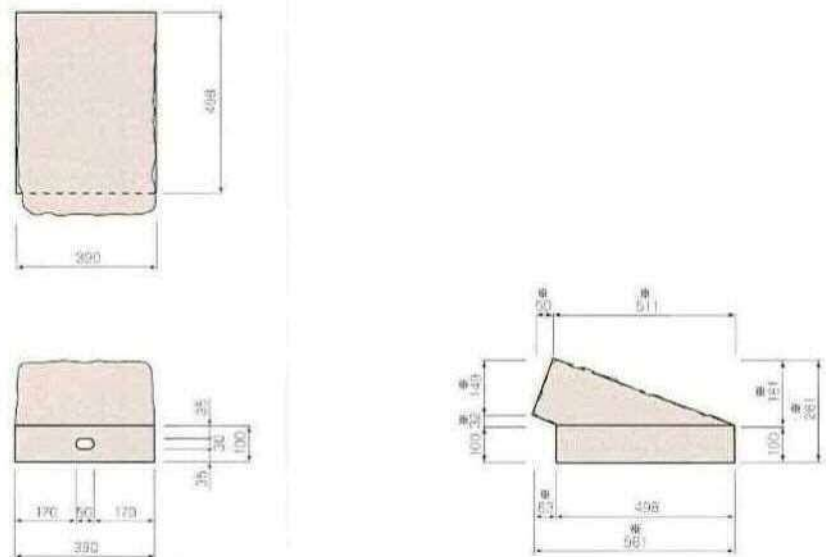
※印の寸法は仮想点を表示しています。



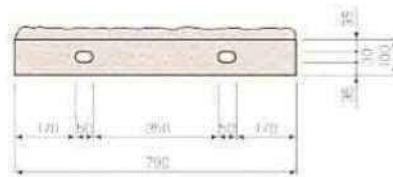
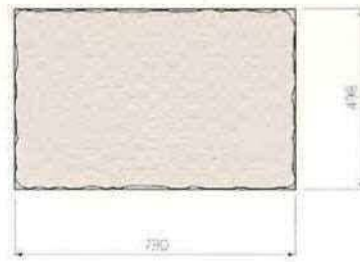
3.0型B形



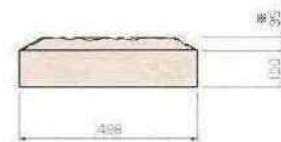
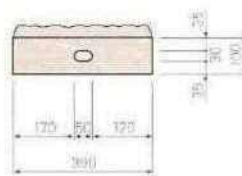
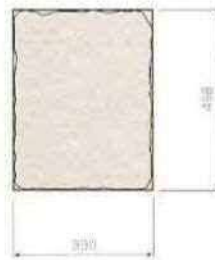
3.0型C形



B F形

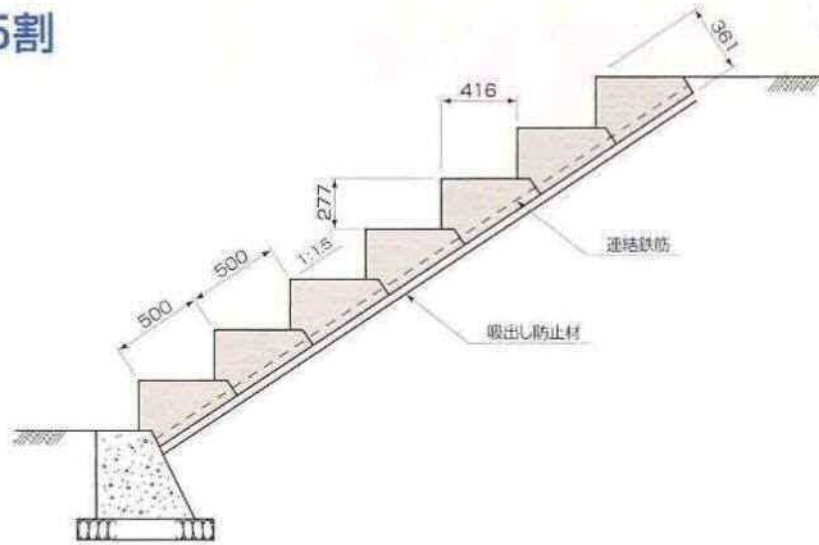


C F形

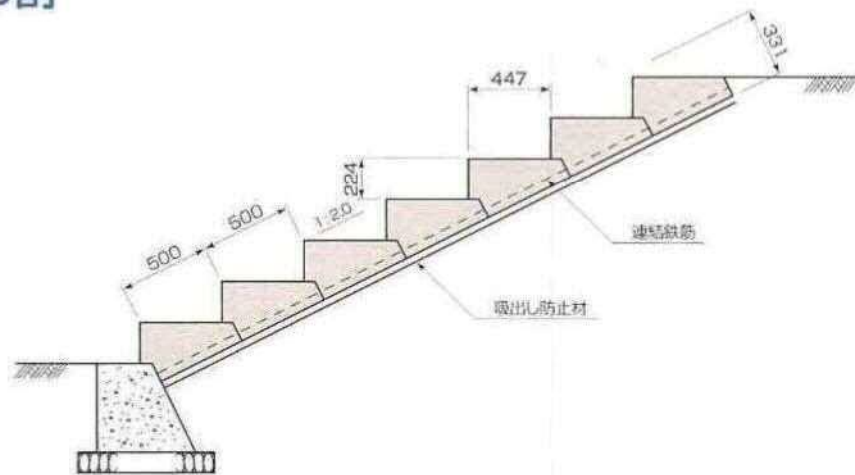


標準断面図

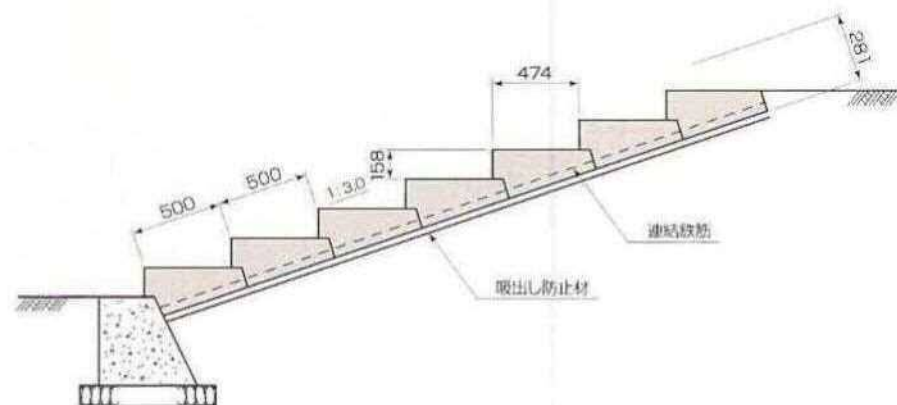
法勾配1.5割



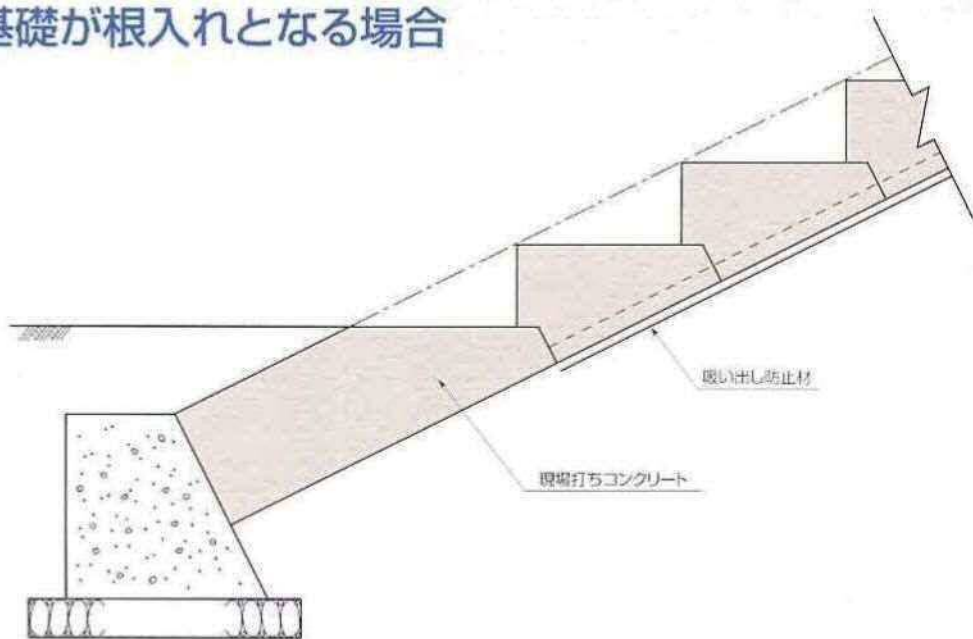
法勾配2.0割



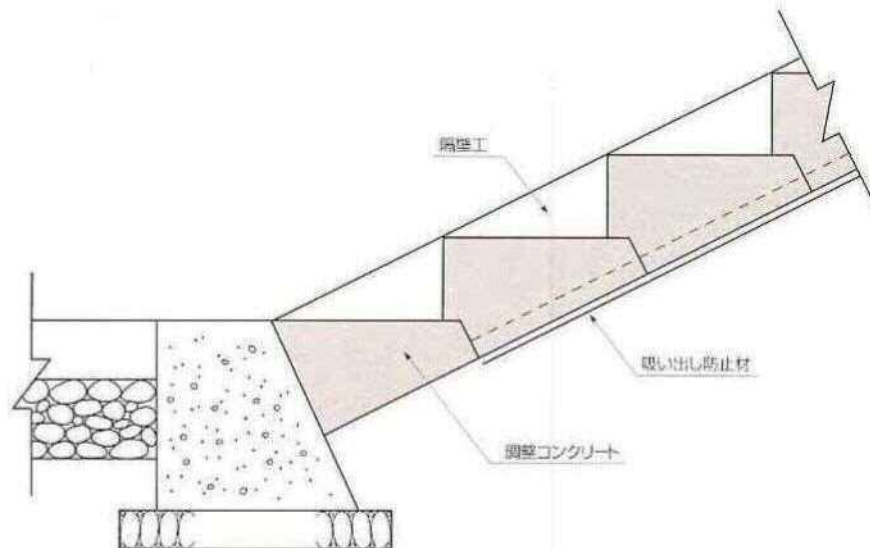
法勾配3.0割



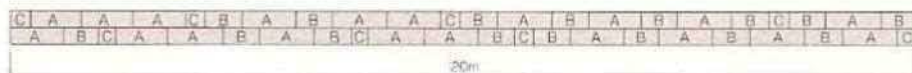
法留基礎が根入れとなる場合



他工種との摺り付け例



パターンI●ブロック使用比率A形:B形:C形=5:4:2



A形、B形、C形の使用は上図をパターンとし、パターンの繰り返しを施工区間に充当するものとします。



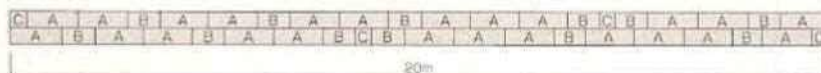
呼び名	計 算 式
A 形	$N_A = \frac{S}{0.5} \times 10 \times \frac{L}{20}$
B 形	$N_B = \frac{S}{0.5} \times 8 \times \frac{L}{20}$
C 形	$N_C = \frac{S}{0.5} \times 4 \times \frac{L}{20}$

N_A, N_B, N_C : それぞれA形、B形、C形の個数(個)

S: 施工法長(m)

L: 施工延長(m)

パターンII●ブロック使用比率A形:B形:C形=6:3:1



A形、B形、C形の使用は上図をパターンとし、パターンの繰り返しを施工区間に充当するものとします。



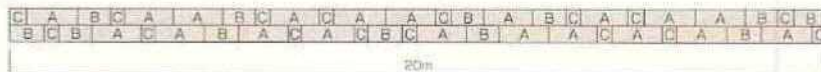
呼び名	計 算 式
A 形	$N_A = \frac{S}{0.5} \times 12 \times \frac{L}{20}$
B 形	$N_B = \frac{S}{0.5} \times 6 \times \frac{L}{20}$
C 形	$N_C = \frac{S}{0.5} \times 2 \times \frac{L}{20}$

N_A, N_B, N_C : それぞれA形、B形、C形の個数(個)

S: 施工法長(m)

L: 施工延長(m)

パターンIII●ブロック使用比率A形:B形:C形=5:3:4



A形、B形、C形の使用は上図をパターンとし、パターンの繰り返しを施工区間に充当するものとします。



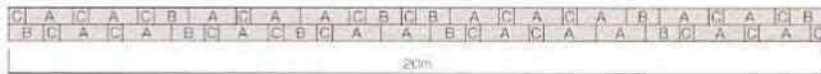
呼び名	計 算 式
A 形	$N_A = \frac{S}{0.5} \times 10 \times \frac{L}{20}$
B 形	$N_B = \frac{S}{0.5} \times 6 \times \frac{L}{20}$
C 形	$N_C = \frac{S}{0.5} \times 8 \times \frac{L}{20}$

N_A, N_B, N_C : それぞれA形、B形、C形の個数(個)

S: 施工法長(m)

L: 施工延長(m)

パターンIV●ブロック使用比率A形:B形:C形=2:1:2



A形、B形、C形の使用は上図をパターンとし、パターンの繰返しを施工区間に充当するものとします。



呼び名	計 算 式
A 形	$N_A = \frac{S}{0.5} \times 10 \times \frac{L}{20}$
B 形	$N_B = \frac{S}{0.5} \times 5 \times \frac{L}{20}$
C 形	$N_C = \frac{S}{0.5} \times 10 \times \frac{L}{20}$

N_A, N_B, N_C : それぞれA形、B形、C形の個数(個)

S: 施工法長(m)

L: 施工延長(m)

連 結 鉄 筋	$\ell_1 = \frac{L(S+1.05)}{0.4} - 0.8$
連 結 線	$\ell_2 = \frac{L(2S+2.2)}{0.8} - 0.9$

S: 施工法長(m)

L: 施工延長(m)

ℓ_1 : 連結鉄筋の長さ(m)

ℓ_2 : 連結線の長さ(m)

数量算出例

区 分			単位	施 工 延 長 20.0m									
施 工 段 数			段	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
施 工 法 長			m	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
施 工 面 積			m ²	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
ブ ロ ッ ク	パターンⅠ A:B:C =5:4:2	A形	個	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
		B形	個	8	16	24	32	40	48	56	64	72	80
		C形	個	4	8	12	16	20	24	28	32	36	40
	パターンⅡ A:B:C =6:3:1	A形	個	12	24	36	48	60	72	84	96	108	120
		B形	個	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
		C形	個	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20
	パターンⅢ A:B:C =5:3:4	A形	個	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
		B形	個	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
		C形	個	8	16	24	32	40	48	56	64	72	80
	パターンⅣ A:B:C =2:1:2	A形	個	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
		B形	個	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
		C形	個	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100